

Biz メール&ウェブ ビジネス r3

PHP5.4 から PHP8.1 への バージョンアップ手順 (WordPress を利用している場合)

はじめに ◆必ずお読みください◆

本書では、WordPress を利用している場合の PHP5.4 から PHP8.1 へのバージョンアップ手順をご案内します。

バージョンアップは、以下 5 つのステップが必要です。

STEP1: [現時点の WordPress のバージョンを確認する](#)

※ WordPress のバージョンによって作業手順が異なります。必ず確認してください。

STEP2: [WordPress のバックアップを取得する](#)

※ 作業過程で不具合が発生した場合に備えて、データベース（DB）と WordPress ディレクトリ配下のバックアップを必ず取得してください。

STEP3: [テーマおよびプラグインの更新](#)

※ ご利用のテーマやプラグインが、バージョンアップ後の WordPress や PHP に対応しているかを事前に確認する必要があります。

STEP4: [プラグインを無効化する](#)

STEP5: WordPress と PHP をバージョンアップする

[WordPress のバージョンが 3.7 未満の場合](#)

[WordPress のバージョンが 3.7～5.0 の場合](#)

[WordPress のバージョンが 5.1～5.5 の場合](#)

[WordPress のバージョンが 5.6 以上の場合](#)

※ STEP1 で確認した WordPress のバージョンごとに手順が異なる部分があります。

参照先をお間違えのない様、ご注意ください。

※ WordPress のバージョンによって、管理画面の表示が本書でご案内する表示と異なる場合があります。

WordPress を複数インストールされている場合は、各 WordPress のバージョンをご確認のうえ、バージョンアップを実施ください。

※ 本書でご案内する内容は、Biz メール&ウェブのコントロールパネルでクイックインストールした WordPress が対象です。お客さまが独自にインストールした WordPress についてはディレクトリが異なる場合があります。

◆ すべての STEP において、『WordPress 管理画面』および『コントロールパネル』へは **管理者** としてログインする必要があります。

PHP バージョンの提供スケジュールや注意事項など詳細は、以下リンク先のお知らせページをご確認ください。

新 OS へのバージョンアップに伴う、PHP5.4 提供終了のお知らせ

<https://support.ntt.com/mw-businessr3/information/detail/pid2500002107>

「現在のご利用環境（PHP5.4）へ PHP8.1 の試験環境を作成する方法」につきましては、以下リンク先の PDF をご参照ください。

PHP5.4 環境での PHP8.1 の試験環境作成手順について

<https://support.ntt.com/mw-businessr3/download/detail/pid21000023ph/>

1. WordPress のバージョン確認

WordPress のバージョンは、以下いずれかの方法で確認することができます。

- コントロールパネルのファイルマネージャで「version.php」ファイルを確認する
- WordPress の管理画面で確認する

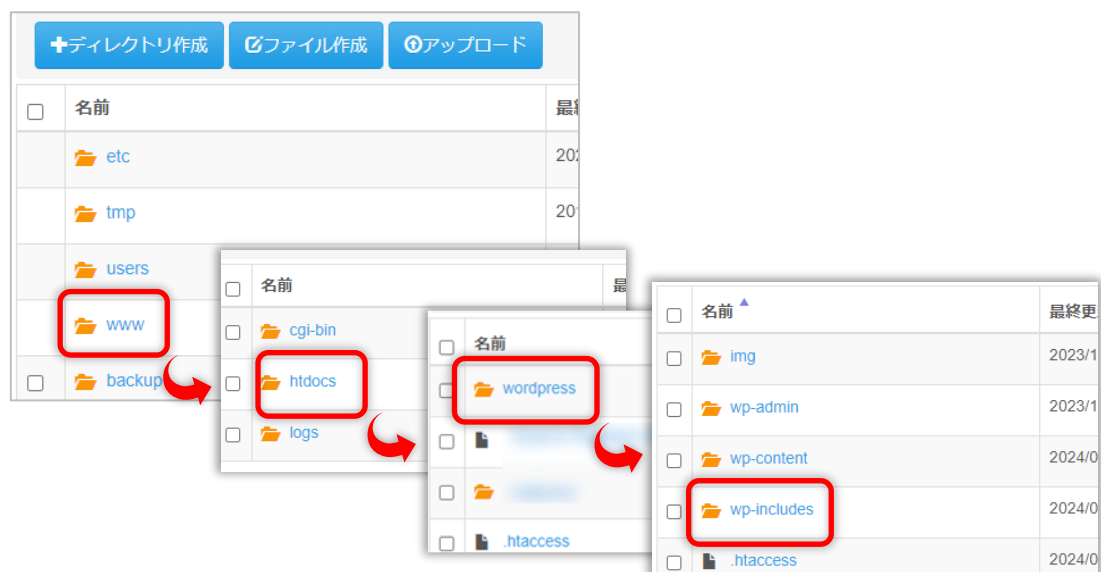
1.1 コントロールパネルのファイルマネージャで確認する

- 1) コントロールパネル上部メニューの「ファイル」をクリックしてファイルマネージャを開きます。



- 2) 「wp-includes」ディレクトリまで、各ディレクトリをクリックして辿ります。

/www/htdocs/wordpress/wp-includes



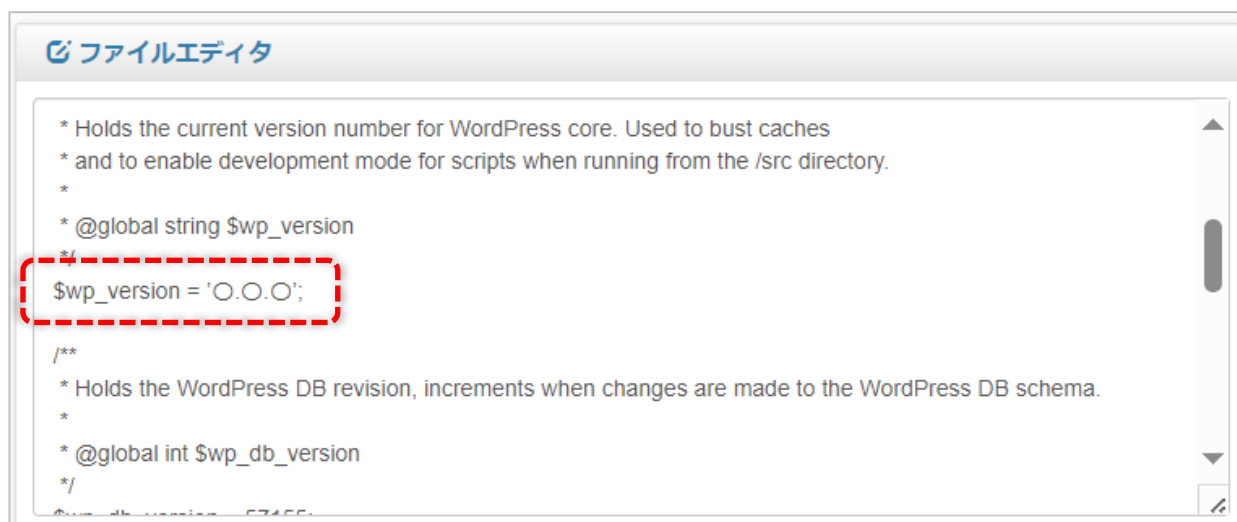
※ 別のディレクトリに WordPress をインストールしている場合は、そちらへ遷移してください。

- 3) 「wp-includes」ディレクトリ内にある「version.php」ファイルの「詳細」をクリックします。

<input type="checkbox"/>	theme-previews.php	2024/07/03	2.77 KB	詳細 名前変更 コピー
<input type="checkbox"/>	theme-templates.php	2024/02/06	6.08 KB	詳細 名前変更 コピー
<input type="checkbox"/>	theme.json	2024/07/03	7.19 KB	詳細 名前変更 コピー
<input type="checkbox"/>	theme.php	2024/07/03	0.13 MB	詳細 名前変更 コピー
<input type="checkbox"/>	update.php	2024/02/06	0.04 MB	詳細 名前変更 コピー
<input type="checkbox"/>	user.php	2024/07/03	0.16 MB	詳細 名前変更 コピー
<input type="checkbox"/>	vars.php	2024/07/03	6.24 KB	詳細 名前変更 コピー
<input type="checkbox"/>	version.php	2024/07/03	0.93 KB	詳細 名前変更 コピー
<input type="checkbox"/>	widgets	2022/12/12		開く 名前変更 コピー

- 4) 画面下部の「ファイルエディタ」で「\$wp_version = '0.0.0';」の記述を確認します。

※ '0.0.0'部分がお客様の環境にインストールされている WordPress のバージョンです。



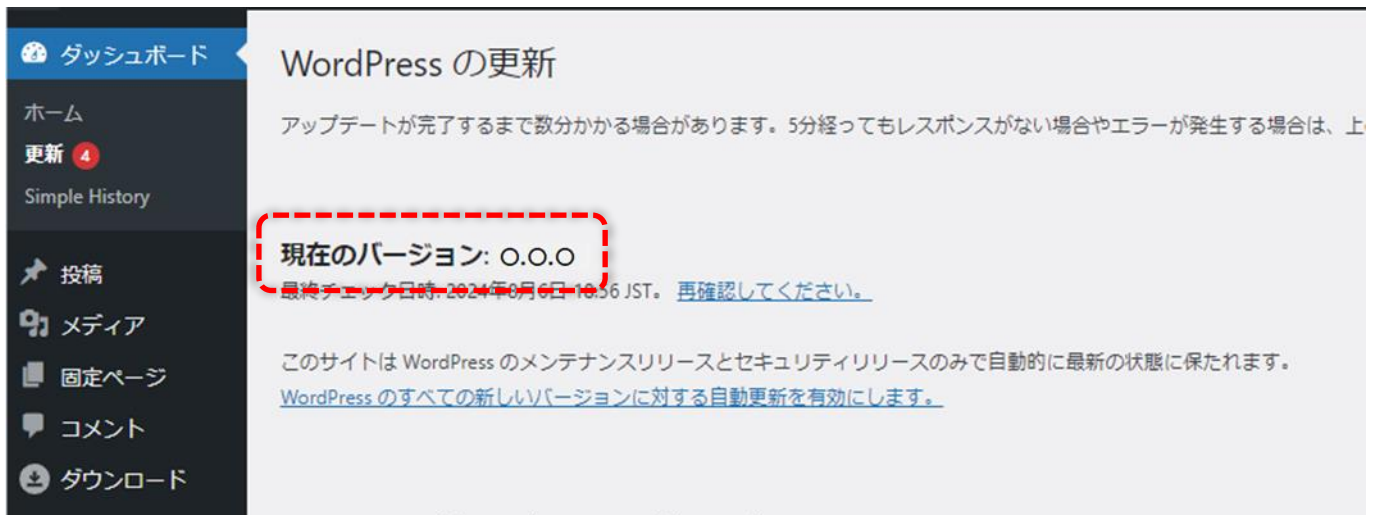
- 5) 確認できたら、[キャンセル] をクリックしてエディタ画面を閉じてください。



1.2 WordPress の管理画面で確認する

WordPress 管理画面の左メニュー [ダッシュボード] - [更新] をクリックすると、現在ご利用中のバージョンが表示されます。

※ 下図の〇.〇.〇部分がお客さまの環境にインストールされている WordPress のバージョンです。



※ WordPress 管理画面へのログインについては、以下のマニュアルをご参照ください。

(2) WordPress 管理者画面へのログイン | 管理者マニュアル

https://bizmw.jp/b-manual/mwbr3_admin/oid0154#oid0158

2. WordPress のバックアップ取得

本書では、WordPress のバックアップ方法として以下をご案内します。

- phpMyAdmin でデータベース（以下、DB）をエクスポートする
- WordPress のディレクトリを圧縮する

※ お客さまで用意いただいたバックアップ用のプラグイン等（復元に必要なバックアップが取れるもの）をお使いいただく方法でも問題ありません。

※ プラグインの使用方法等については、サポート対象外となります。

2.1 phpMyAdmin で DB をエクスポートする

- 1) phpMyAdmin にログインします。
- 2) 左のパネルから WordPress の DB 名をクリックしてから、画面上部の「エクスポート」タブをクリックします。



※ WordPress の DB 名は、インストールした時期や方法によって異なります。

ワンクリックインストールでインストールされた場合、wpres_db, wpres2_db などに設定されています。

※ 左のパネルが表示されていない場合は、ページ左上部の「→」矢印アイコンをクリックすると表示されます。



3) エクスポート画面で、以下の項目をそれぞれ選択します。

※ ここでは、以下に記載している項目以外は初期状態のままとする一般的な設定内容をご案内します。
お客様の運用方法に合わせてオプションを選択する等してください。

データベース "wordpress" からテーブルをエクスポート

エクスポート方法:

☐ 簡易 - 最小限のオプションだけ表示

☒ 詳細 - 可能なオプションをすべて表示

テーブル:

全選択 / 全選択解除

- wp_commentmeta
- wp_comments
- wp_links
- wp_options
- wp_postmeta
- wp_posts
- wp_terms
- wp_term_relationships
- wp_term_taxonomy
- wp_usermeta

エクスポート方法: 「詳細」を選択する

テーブル: 「全選択」の状態にする

出力:

☒ 出力をファイルに保存する

ファイル名のテンプレート: ☒ 今後のエクスポートでこれを使用する

ファイルの文字セット:

圧縮:

☐ 出力をテキストで表示する

フォーマット:

- なし
- zip 形式
- gzip 形式
- bzip 形式

出力: データベースのサイズが大きすぎる場合は、エラーが発生する可能性があります。その場合は、エクスポートをする際に、選択するデータテーブルを分割、または、ZIP 形式などで圧縮してエクスポートする方法をお試してください。

フォーマット:

SQL

フォーマット: [SQL] となっていることを確認する

生成オプション

追加コマンド:

☐ CREATE DATABASE / USE コマンドを追加する

☒ DROP TABLE / VIEW / PROCEDURE / FUNCTION / EVENT コマンドを追加する

☒ CREATE PROCEDURE / FUNCTION / EVENT コマンドを追加する

☒ CREATE TABLE オプション:

☐ IF NOT EXISTS

☒ AUTO_INCREMENT

☒ 逆クォートでテーブルやカラムの名前を囲む (特殊な文字やキーワードを含むカラム名やテーブル名を保護します)

生成オプション: 以下の状態であることを確認する

項目	チェック有無
CREATE DATABASE / USE コマンドを追加する	チェックなし
DROP TABLE / VIEW / PROCEDURE / FUNCTION / EVENT コマンドを追加する	チェックあり
CREATE PROCEDURE / FUNCTION / EVENT コマンドを追加する	チェックあり
CREATE TABLE オプション	チェックあり
IF NOT EXISTS	チェックなし
AUTO_INCREMENT	チェックあり

- 4) 「エンコーディングへの変換」が [なし] であることを確認のうえ、[実行] をクリックします。

エンコーディングへの変換:

☒ なし ☐ EUC ☐ SJIS

☐ 全角カナへ変換する

実行

※ エクスポートしたデータは、作業が完了するまでお客様のローカル環境で保持してください。

2.2 WordPress のディレクトリを圧縮する



注意

「wordpress」ディレクトリ配下に UTF-8 以外のマルチバイトのファイル名が存在する場合は、本項で説明する圧縮機能はご利用いただけません。該当ファイルが存在している場合は、以下いずれかの方法でバックアップを取得してください。

【方法 1】 FTP などでもローカル PC に WordPress ディレクトリを保存する

【方法 2】 コントロールパネル（ファイルマネージャ）の「コピー」機能で WordPress ディレクトリのコピーを作成する

※ コピー機能については、以下のマニュアルをご参照ください。

4.2.4 ファイルやディレクトリの編集・名前変更・移動・コピー | 利用者マニュアル

https://bizmw.jp/b-manual/mwbr3_user/oid0245#oid0249

※ WordPress ファイルの大きさによっては、ディスク容量を多く消費する可能性がありますので、事前にご確認のうえコピーを作成してください。

1) コントロールパネル上部メニューの「ファイル」をクリックして、ファイルマネージャを開きます。

2) 「htdocs」ディレクトリまで、各ディレクトリをクリックして辿ります。

/www/htdocs

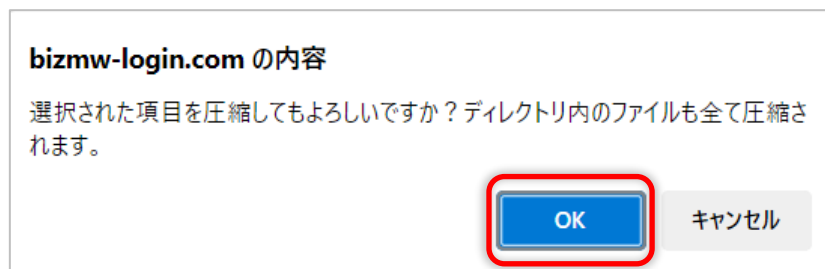


※ 別のディレクトリに WordPress をインストールしている場合は、そちらへ遷移してください。

- 3) 「wordpress」ディレクトリのチェックボックスを選択して、[一括圧縮] をクリックします。



- 4) 確認のポップアップが表示されたら [OK] をクリックします。



- 5) ファイル名を確認のうえ [圧縮] をクリックします。



3. テーマおよびプラグインについて

3.1 テーマ/プラグインの更新

事前に、ご利用のテーマやプラグインがバージョンアップ後の「WordPress6.x.x」や「PHP8.1」に対応しているか を必ずご確認ください。

※ テーマやプラグインによっては、WordPress のバージョンアップ後に更新する場合もあります。

テーマやプラグインの更新は、WordPress 管理画面「ダッシュボード」の「更新」から行う事ができます。



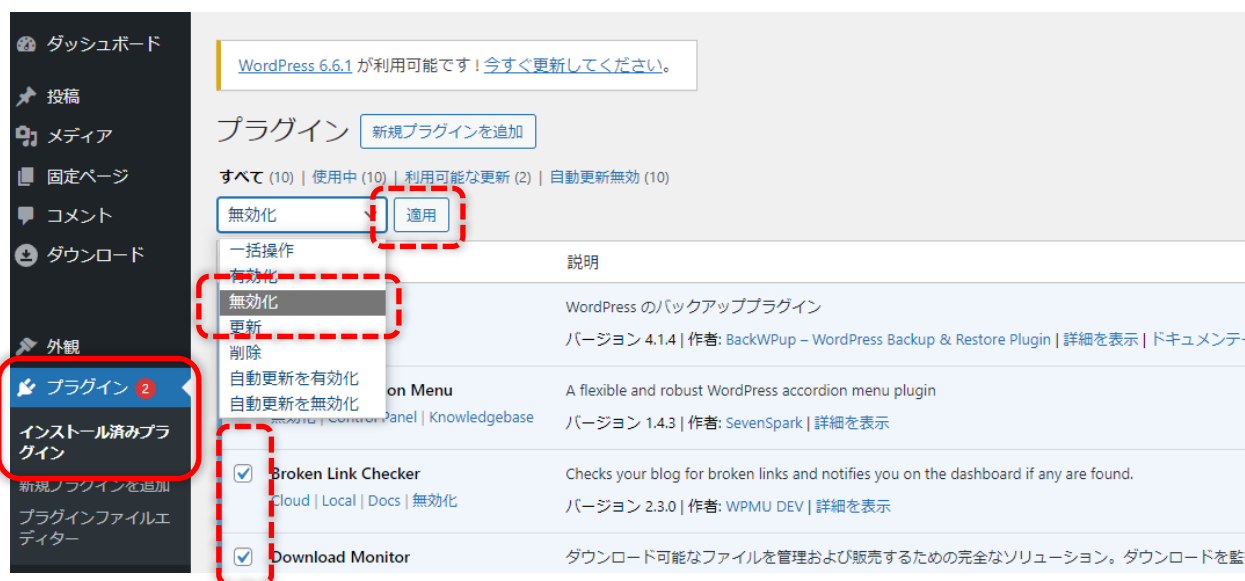
※ ご利用のテーマによっては、更新の有無が WordPress の管理画面に通知されない（テーマの公式サイトでのみ公開している等）場合もありますので、ご注意ください。

3.2 プラグインの無効化

WordPress をバージョンアップする前に、利用しているプラグインを無効化することをお勧めします。

※ 有効化したまま作業すると、万が一問題が発生した際にバージョンアップが原因なのか、プラグインの影響なのか切り分けが難しくなります。

プラグインの無効化は、WordPress 管理画面「プラグイン」の「インストール済みプラグイン」から行えます。



※ プラグインをすべて選択してから「無効化」を選択して「適用」をクリックすると、一括で無効化できます。

※ PHP8.1 へバージョンアップした後に、プラグインをひとつずつ有効化して Web サイトの動作を確認してください。

4. WordPress と PHP のバージョンアップ

4.1 WordPress 3.7 未満の場合

4.1.1 WordPress 提供元で紹介されている手順を参考にバージョンアップする

WordPress 3.7 未満では WordPress 管理画面からの自動バックグラウンド更新を利用する事ができません。

WordPress のバージョンアップ手順や注意事項など詳細は、以下 WordPress 提供元の公式ページをご参照ください。

WordPress の更新 – 詳細な手順

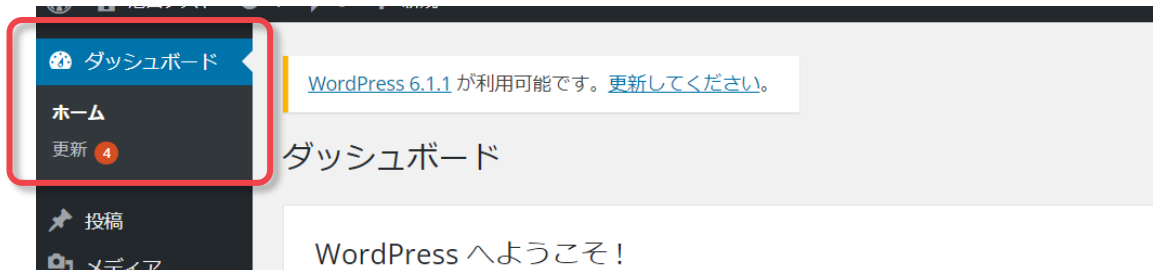
<https://ja.wordpress.org/support/article/upgrading-wordpress-extended-instructions/>

4.2 WordPress 3.7～5.0 の場合

4.2.1 PHP5.4 の状態で WordPress を 5.1 までバージョンアップする

はじめに、PHP5.4 のまま WordPress5.1.x までバージョンアップします。

- 1) WordPress 管理画面の左メニュー [ダッシュボード] - [更新] をクリックします。



- 2) 「WordPress 5.1.x」の「今すぐ更新」をクリックします。



プラグイン・設定・テーマファイル・カスタマイズ等の影響により「今すぐ更新」ボタンが表示されないことがあります。この場合は「[4.1.1 WordPress 提供元で紹介されている手順を参考にバージョンアップする](#)」をご参照ください。

- 3) 『データベースの更新が必要』と表示されたら「WordPress データベースを更新」をクリックし、『更新完了』が表示されたら「次へ」をクリックします。



4.2.2 PHP7.4 に切り替える

WordPress5.1.x までバージョンアップできたら、PHP7.4 に切り替えます。

- 1) コントロールパネルの左メニュー「アプリケーション」 - 「基本アプリ」をクリックして、基本アプリ画面で PHP の「設定」をクリックします。



- 2) 画面下部「PHP バージョン」欄で「7.4」を選択して「変更」をクリックします。
※ モード（CGI/Module）はお客さまのご利用に合わせて選択してください。



4.2.3 WordPress を 5.6 以上にバージョンアップする

PHP7.4 に切り替えたら、WordPress5.6.x 以上にバージョンアップします。

- 1) WordPress 管理画面の左メニュー [ダッシュボード] - [更新] をクリックします。



- 2) 「WordPress 5.6.x」以上の「今すぐ更新」をクリックします。



プラグイン・設定・テーマファイル・カスタマイズ等の影響により「今すぐ更新」ボタンが表示されないことがあります。この場合は「[4.1.1 WordPress 提供元で紹介されている手順を参考にバージョンアップする](#)」をご参照ください。

- 3) 『データベースの更新が必要』と表示されたら「WordPress データベースを更新」をクリックし、『更新完了』が表示されたら「次へ」をクリックします。



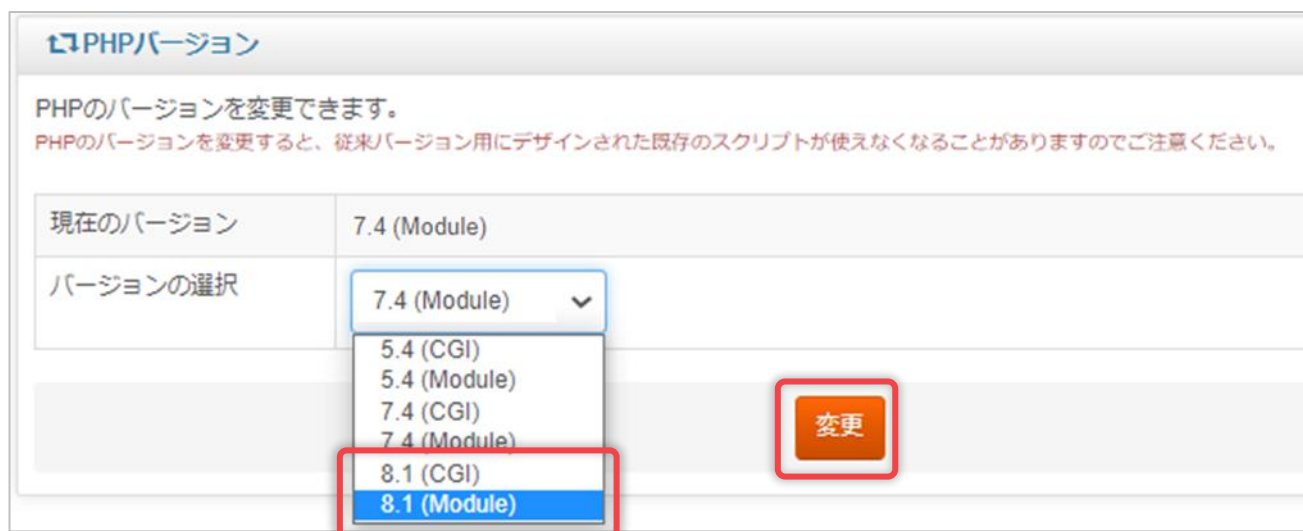
4.2.4 PHP8.1 に切り替える

WordPress5.6.x 以上にバージョンアップできたら、PHP8.1 に切り替えます。

- 1) コントロールパネルの左メニュー「アプリケーション」 - 「基本アプリ」をクリックして、基本アプリ画面で PHP の「設定」をクリックします。



- 2) 画面下部「PHP バージョン」欄で「8.1」を選択して「変更」をクリックします。
※ モード（CGI/Module）はお客さまのご利用に合わせて選択してください

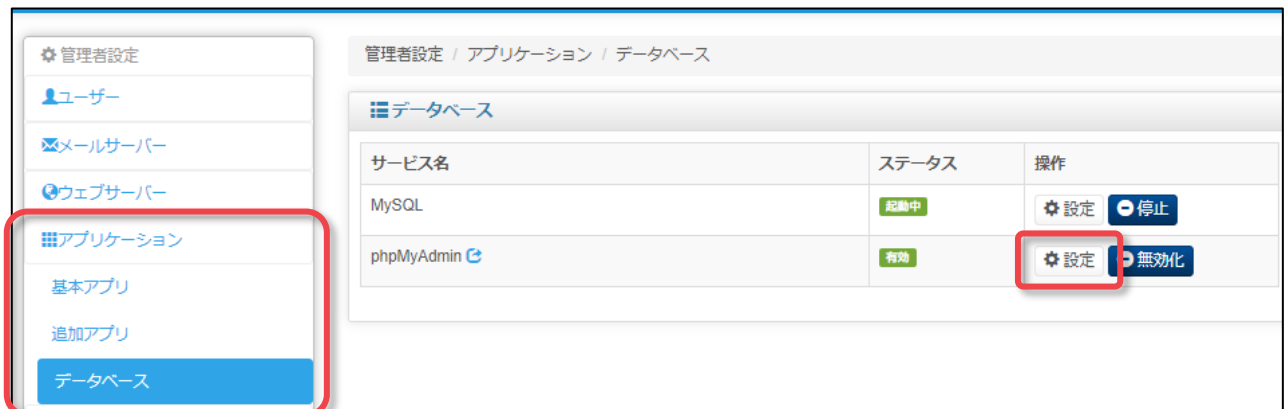


4.2.5 phpMyAdmin5.2 に切り替える

PHP8.1 に切り替えたら、phpMyAdmin5.2 に切り替えます。

※ phpMyAdmin をご利用でない場合は、この作業は不要です。

- 1) コントロールパネルの左メニュー [アプリケーション] - [データベース] をクリックして、データベース画面で phpMyAdmin の [設定] をクリックします。



- 2) 画面下部「phpMyAdmin バージョン」欄で [phpMyAdmin5.2 にバージョン変更] をクリックします。



4.2.6 プラグインを有効化して動作確認する

[3.2 プラグインの無効化](#) で無効にしたプラグインを一つずつ有効化して動作を確認してください。

4.3 WordPress 5.1～5.5 の場合

4.3.1 PHP7.4 に切り替える

はじめに、PHP7.4 に切り替えます。

- 1) コントロールパネルの左メニュー「アプリケーション」 - 「基本アプリ」をクリックして、基本アプリ画面で PHP の「設定」をクリックします。



- 2) 画面下部「PHP バージョン」欄で「7.4」を選択して「変更」をクリックします。
※ モード（CGI/Module）はお客さまのご利用に合わせて選択してください。



4.3.2 WordPress を 5.6 以上にバージョンアップする

PHP7.4 に切り替えたら、WordPress5.6.x 以上にバージョンアップします。

- 1) WordPress 管理画面の左メニュー [ダッシュボード] - [更新] をクリックします。



- 2) 「WordPress 5.6.x」以上の「今すぐ更新」をクリックします。



プラグイン・設定・テーマファイル・カスタマイズ等の影響により「今すぐ更新」ボタンが表示されないことがあります。この場合は「[4.1.1 WordPress 提供元で紹介されている手順を参考にバージョンアップする](#)」をご参照ください。

- 3) 『データベースの更新が必要』と表示されたら「WordPress データベースを更新」をクリックし、『更新完了』が表示されたら「次へ」をクリックします。



4.3.3 PHP8.1 に切り替える

WordPress5.6.x 以上にバージョンアップできたら、PHP8.1 に切り替えます。

- 1) コントロールパネルの左メニュー【アプリケーション】 - 【基本アプリ】をクリックして、基本アプリ画面で PHP の【設定】をクリックします。



- 2) 画面下部「PHP バージョン」欄で「8.1」を選択して【変更】をクリックします。
※ モード（CGI/Module）はお客さまのご利用に合わせて選択してください



4.3.4 phpMyAdmin5.2 に切り替える

PHP8.1 に切り替えたら、phpMyAdmin5.2 に切り替えます。

※ phpMyAdmin をご利用でない場合は、この作業は不要です。

- 1) コントロールパネルの左メニュー [アプリケーション] - [データベース] をクリックして、データベース画面で phpMyAdmin の [設定] をクリックします。



- 2) 画面下部「phpMyAdmin バージョン」欄で [phpMyAdmin5.2 にバージョン変更] をクリックします。



4.3.5 プラグインを有効化して動作確認する

[3.2 プラグインの無効化](#)で無効にしたプラグインを一つずつ有効化して動作を確認してください。

4.4 WordPress 5.6 以上の場合

4.4.1 PHP8.1 に切り替える

- 1) コントロールパネルの左メニュー「アプリケーション」 - 「基本アプリ」をクリックして、基本アプリ画面で PHP の「設定」をクリックします。



- 2) 画面下部「PHP バージョン」欄で「8.1」を選択して「変更」をクリックします。
※ モード（CGI/Module）はお客さまのご利用に合わせて選択してください



4.4.2 phpMyAdmin5.2 に切り替える

※ phpMyAdmin をご利用でない場合は、この作業は不要です。

- 1) コントロールパネルの左メニュー [アプリケーション] - [データベース] をクリックして、データベース画面で phpMyAdmin の [設定] をクリックします。



- 2) 画面下部「phpMyAdmin バージョン」欄で [phpMyAdmin5.2 にバージョン変更] をクリックします。



4.4.3 プラグインを有効化して動作確認する

[3.2 プラグインの無効化](#)で無効にしたプラグインを一つずつ有効化して動作を確認してください。

Biz メール&ウェブ ビジネス r3

**PHP5.4 から PHP8.1 への
バージョンアップ手順
（WordPress を利用している場合）**

発行 NTTドコモビジネス株式会社

© NTTドコモビジネス株式会社
本書の無断複写複製(コピー)・転載を禁じます。